

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 松山市立新玉小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒790-0011
松山市千舟町八丁目89番地

E-mail : ara-eof@esnet.ed.jp

Website : http://aratama-e.esnet.ed.jp/

児童生徒数：男子 278 名 女子 286 名 合計 564 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域・キャリア）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

〔本校の取組の概要〕

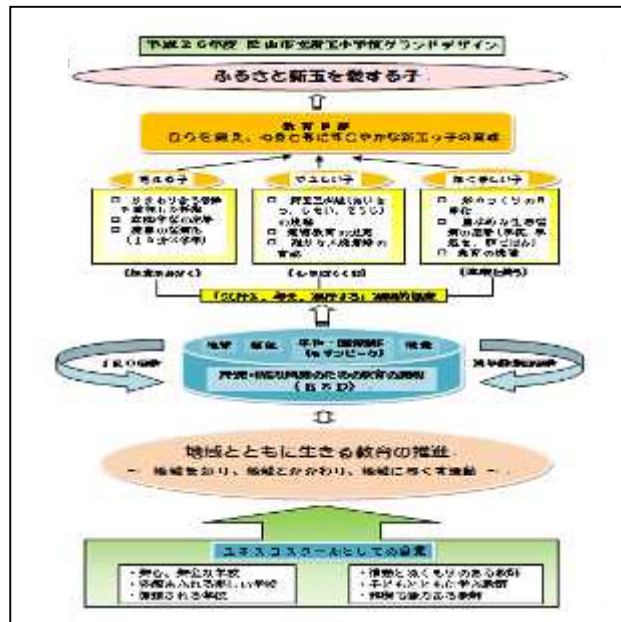
本校では、「地域と共に生きる力」を育成することを目標に、「地域を知る」「地域とかがわる」「地域に尽くす」を活動の三本柱として、生活科、総合的な学習の時間を中心に ESD に取り組んでいる。愛着のある地元地域をフィールドに、どの学年も実態に応じたテーマを設定し、課題解決に向けて、児童が主体的に学習を行っているのが特徴である。

この各学年のテーマに応じた学習に加え、最貧国といわれているアフリカのモザンビーク共和国（以下：モザンビーク）と関連のある学習を全学年で行っている。2007 年から始まり、今年度で8年目を迎えている、本校の特色となっている学習である。（資料1）

この学習に、継続的にモザンビークへの支援を行っている NPO 法人「えひめグローバルネットワーク（以下、EGN）」（代表竹内よし子氏）がゲストティーチャーとしてだけでなく、カリキュラム作りや授業の組み立て、本校の ESD の方向性のアドバイスまで多岐にわたって関わっている。EGN との協働により、継続的な学びができ、学習が深まっている。また、学校だけでは難しい様々な取組ができている。モザンビークを一つの教材として、各学年が発達段階に応じて、あるいは各学年のテーマに沿って、国際理解・平和・環境・食等の様々な切り口で学習に取り組んでいる。

このように、本校では、各学年のテーマに応じた学習で、様々な分野の広い視点・知識を学び、モザンビークに関わりのある学習で、モザンビークについて様々な角度から6年間を通して深く掘り下げて学び、双方を関連付けて思考しながら多角的で多様な学びができる T 字型学習が展開できるようにしている。持続可能な社会を創造していくための人材育成のために、効果的な学習プログラムとなっている。（資料2）

以下、学年別 ESD の取組一覧（資料2）に示されている各学年の取組（一部抜粋）の概要について述べることにする。



（資料1）本校の目指す教育の全体像

学年	領域	テーマ	目標 (ESDとの関連性)	持続可能な社会づくりの構成概念	育てたい力	ESDで目指す能力・態度	モザイクへの関連 (国際理解・平和・環境・食)	持続可能な社会づくりの構成概念	ESDで目指す能力・態度
1	地域・自然	学校・公園探検 みんなが生きるとして のしがいってはい ないっていい	身の回りの施設・自然の様子や、自分たちの生活を支えている人々や友達の様子が変わり、それらと自分とのかかわりに気付いている。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	身の回りの施設や人々やさまざまな場所を巡り、学校や公園や施設を身につけて、みんなで施設を利用する楽しさやいろいろな種類の人がいることが分かります。相手の気持ちを考えたり行動しようとする。【相互性】 【公平性】 【責任性】 身の回りや場所だけでなく、人々の思いや地域のよさを大切に、地域と自分とのかかわりに関心を持って、自分と自然や身近な人々とのつながりを感じ、家の人や自然に支えられていることに感謝する。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
2	地域	よいまちづくり (地域の力やその支え)	地域で生活し、活動している人々や施設により、一緒に活動したりして、地域の上に気づき、地域の人や場所への愛情を高めるとともに、地域のために自分たちができることを考え、実践することを目指す。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	身近な地域の人々やさまざまな場所に関心を持ち、人や施設を大切に、安全に楽しく生活しようとする。【相互性】 【公平性】 【責任性】 身の回りや場所だけでなく、人々の思いや地域のよさを大切に、地域と自分とのかかわりに関心を持って、自分と自然や身近な人々とのつながりを感じ、家の人や自然に支えられていることに感謝する。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
2	食	大食卓で わたしの好きな 食べ物を食べよう	世界の調理を通して、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	育てて収穫を味わう、世界の調理を通して、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 世界の調理を通して、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
3	地域	大食卓 食べ物を 楽しむ	新玉地産産物を使い、人々や施設を通じて、地域の上に気づき、自分も地域の一人であることに喜びを感じる。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	地域の産物やさまざまな施設に関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 地域の産物やさまざまな施設を通じて、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
3	国際理解	ちがう国(モザイク)で も同じこと	モザイクの生活や文化を体験的に知り、日本とモザイクの生活や文化のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	モザイクの文化や生活に関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 モザイクの文化や生活に関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
4	福祉(人権)	あなただけ あつたま	誰か一人や高齢者、福祉の仕事に関わる人の生活や身近な福祉の問題とのかかわりを通して、共に生きていくという思いや考えを深める。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	身近な福祉の問題について知り、自分の身の回りや身近な福祉の問題とのかかわりを通して、共に生きていくという思いや考えを深める。【相互性】 【公平性】 【責任性】 身近な福祉の問題について知り、自分の身の回りや身近な福祉の問題とのかかわりを通して、共に生きていくという思いや考えを深める。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
4	食	食べるって 楽しい！！	食生活に関する課題を追究し、食に関心をもつとともに、自分の食生活が、社会や家の人、自然とつながっていることを実感する。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	食に関する課題を追究する学習活動を通して、食に関心をもつとともに、自分の食生活が、社会や家の人、自然とつながっていることを実感する。【相互性】 【公平性】 【責任性】 食に関する課題を追究する学習活動を通して、食に関心をもつとともに、自分の食生活が、社会や家の人、自然とつながっていることを実感する。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
4	キャリア	二つの一般入試	自分の得意な分野や興味、得意なことを活かして、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	得意な分野や興味、得意なことを活かして、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 得意な分野や興味、得意なことを活かして、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
5	環境	わたしたちの地球	地球環境問題について現状を把握し、自分たちが何をしなければならぬかを考え、友達・家族・教師・専門家の方々と共に行動することが出来る。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	環境問題について関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 環境問題について関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝え、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
5	食	食文化について 考えよう	食文化について知ることや考えたこと大切にして、ことごとく自分の食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	食文化について知ることや考えたこと大切にして、ことごとく自分の食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 食文化について知ることや考えたこと大切にして、ことごとく自分の食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
6	国際理解・平和・環境	平和の世界を つくりだそう できること	国際理解、平和、環境、食文化について関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	国際理解、平和、環境、食文化について関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 国際理解、平和、環境、食文化について関心を持ち、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	
6	キャリア	ゆめに向かって つなぐこと	地域で働く人の話を聞き、話を聞いてみることで、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	地域で働く人の話を聞き、話を聞いてみることで、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。【相互性】 【公平性】 【責任性】 地域で働く人の話を聞き、話を聞いてみることで、自分たちの食文化や食生活のよさを伝える。	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	【多様性】 【相互性】 【公平性】 【責任性】	

(資料2) 学年別 ESD の取組一覧

〔各学年の取組〕

1 1年の実践

① 教科等：生活科（領域：地域）

単元名：がっこうだいすき

なつだ いっしょにあそぼうよ（学校・公園探検）【総時間：10時間】

目 標： 友達と一緒に校舎内や校庭を歩いたり、公園で遊んだりすることを通して、身の回りの施設や、自分たちの生活を支えている人々のことが分かり、楽しく安全に遊びや生活ができる。

概 要： 入学して数週間がたち、小学校生活に慣れてくるこの時期に、児童の目は教室から学校全体さらには地域へと広がっていく。また、学級担任だけでなく、多くの教職員や地域の人がいることにも気付いてくる。児童が話し合って計画を立て、主体的に学校探検・公園探検をすることを通して、「人・もの・こと」とよりよく関わったり、自立への基礎を養ったりすることができる学習活動を展開した。（写真1・2）

ESDの要素	多様性	学校には、必要に応じてさまざまな場所や設備があることを知る。
	相互性	自分たちの生活が、多くの人々によって支えられていることを知る。
	連携性	学校や公園はみんなが使うものであることに気付き、生活や活動のルールを考えたり、安全に生活したりする。
ESDの能力・態度	多面	自分たちの生活や活動が、友達や先生、地域の人との関わりによって成り立っていることに気付く。
	伝達	進んで挨拶をしたり質問をしたりして、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
	協力	友達と話し合って探検の計画を立てたり、仲良く遊んだりする。



（写真1）職員室でインタビュー



（写真2）「みんなで遊ぶと楽しいね。」

② 教科等：生活科（領域：地域・自然）

単元名：たのしさいっぱい あきいっぱい【総時間：12時間】

目 標： 秋の自然の様子を観察したり、自然を利用して遊んだりして、遊びのおもしろさや自然の不思議さに気付くとともに、遊びを通して人と関わり、生活を楽しくすることができる。

概 要： 秋の校庭や公園で、身近な動植物の様子を観察したり、秋の草花や樹木、虫などの自然を利用して、工夫して遊んだりする。遊びを通して、友達とよりよく関わったり、遊びのおもしろさや自然の不思議さに気付いたりする。（写真3・4）

ESDの要素	多様性	秋の草花や樹木、虫などの動植物の様子に関心をもつ。
	相互性	夏から秋になって、自然の様子が変化していることに気付く。
	連携性	秋の自然物を使った遊びに関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとする。
ESDの能力・態度	多面	秋の自然物の特徴を生かして遊びを工夫しようとする。
	協力	おもちゃを一緒に作ったり、遊びのルールを考えたりして、みんなで楽しく遊ぼうとする。
	関連	季節の変化に応じて動植物の様子や人々の生活が変わることについて、自分なりに考える。



(写真3) 松山城で秋探し



(写真4) 「一緒にやってみよう。」

2 2年の実践

① 教科等：生活科（領域：地域）

単元名：どきどき わくわく まちたんけん【総時間：9時間】

目標：身近な地域に出かけ、地域の人々と関わりをもち、さまざまな場所やものを調べたり、利用したりして、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることが分かるとともに、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、安全に気を付けたりして生活することができる。

概要：地域のことで知っていることや興味のあること、不思議に思っていることなどを紹介し合い、行きたい場所を決め、グループごとに、計画に沿って探検する。地域にあるものや人、場所との関わり、見つけたものや人、聞いたり気付いたりしたことなどを、友達や先生に伝えたり、記録カードなどにかいたりする。さらに、自分たちが新たに発見したことや、解決したふしぎを友達と伝え合い、町の情報を共有する。(写真5・6)

ESDの要素	多様性	地域には、児童からお年寄りまで様々な年齢や立場の人が暮らしていることに気付く。
	相互性	地域の人々は、地域にある公共施設や店などを利用したり、人と人が互いに関わり合ったりしながら生活していることを知る。
	連携性	地域の人々が協力して、安全で住みよい環境づくりに努めていることを感得する。
ESDの能力・態度	伝達	自分の考えをまとめて簡潔に伝えたり、施設やお店の方の説明をしっかりと聞いたりし、積極的に関わりをもつ。
	協力	相手のことを考え、訪問した場所にふさわしい行動をとったり、仲間と協力して行動しようとしたりする。
	関連	地域の人やものに支えられて日々の暮らしが成り立っていることや、いろいろな方の協力で学習活動ができることへの感謝の気持ちをもつ。



(写真5) 松山駅の構内見学



(写真6) 「雲祥寺」で座禅体験

② 教科等：生活科（領域：食）

単元名：大きくそだて わたしの野さい ～サツマイモ・トウモロコシ～

【総時間：20時間】

目 標： 野菜の調理を通して自然との関わりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの食と世界の食とのつながりを感じたりすることができる。自分と身近な人々、社会及び自然との関わりを深めることを通して、自分の生活が多くの人や自然に支えられていることに気付くとともに、自分ができることを主体的に行おうとすることができる。

概 要： 野菜の栽培及び調理等の活動を通して、「野菜の成長に気付き、生き物の命を大切にすること」や「自分の生活が多くの人や自然に支えられていることに気付くこと」をねらいとして活動する。野菜収穫後には、モザンビーク料理（トウモロコシの粉を使った料理・サツマイモの葉を茹でたり炒めたりした料理）を作り味わう活動を取り入れ、地域の方との関わりや友達との協同的な活動の中で、他国の多様な食について知り、人や世界とのつながりを大切にしようとする態度を養うことができる学習展開とした。(写真7・8)

ESDの要素	多様性	育てた野菜を使って他国の料理を作り、世界の国の多様な食について知る。
	連携性	野菜の調理を通して、自然の恩恵や、食事を作ってくれる人々の努力・苦勞を知り、自分と自然や身近な人々とのつながりを感じ取る。
	責任性	グループで割り振られた自分の仕事に責任を持ち、主体的に野菜の調理を行う。
ESDの能力・態度	多面	サツマイモの葉や茎が食べられることを知って、自然物は全て資源になると捉えたり、他国の食に触れ、つながりを感じたりする。
	伝達	話し合い活動において他者の気持ちや考えを尊重しながら、自分の気持ちや考えを話そうとする。
	協力	野菜の調理において、友達と協力して活動する。
	関連	自分の食生活は、自然や多くの人に支えられたり、過去より改善してきたりしていることを知り、感謝の気持ちをもつ。
	参加	調理に主体的に取り組み、グループの中での自分の役割を果たす。



(写真7) サツマイモの収穫



(写真8) サツマイモの料理体験

③ 教科等：生活科（領域：地域）

単元名：よいまちつくろう～菜の花プロジェクト～【総時間：15時間】

目標： 校区にあるJR松山駅のために、自分たちができることを考え、主体的に取り組むことを通して、地域のよさに気づき、親しみや愛着をもつ。
菜の花の栽培活動を通して、自然との触れ合いを深め、生命を大切に
する心を育む。

概要： 町探検を通して感じた感謝の念をもとに、地域と自分との関わりについて考え、地域のために自分にできることをしたいという願いを実現させていく。この際、NPOや大学等の関係諸機関との連携により、様々な人々と関わることで、児童の気づきの質が高まるようにする。具体的には、校区にあるJR松山駅に「花」を飾り心とむ場所にしたいという児童の願いを実現させる。その過程で、農家の方に指導を受けながら、菜の花の土づくりから種まき、水やり、草抜き等の作業を数か月にわたり体験する。発展的な活動として、間引き作業で出た菜の花を雑炊にして活用するという体験を通して、防災時における活用の方法にもつなげ、防災意識を高める。そのため、鑑賞用にも食用にもなり、かつ丈夫で2年生が育てやすい「菜の花」を栽培することとした。（写真9・資料3）
（本実践は、環境省「ESD環境教育プログラム実証事業」として行われたものである。）

ESDの要素	相互性	菜の花の栽培に責任をもち、自分の手で育て収穫したり、グループ内での協同的な活動において自分の役割を果たしたりする。
	連携性	菜の花の栽培や調理等を通して、自然の恩恵や、作物を育てたり食事を作ったりする人々の努力・苦勞を知り、自分と自然や身近な人々とのつながりを感じ得る。
ESDの能力・態度	未来	よりよいまちをつくるために、自分たちのできることを考える。
	多面	菜の花が食べられることを知るとともに、自然物は全て資源になると捉えることができる。
	伝達	話し合い活動において他者の気持ちや考えを尊重しながら、自分の気持ちや考えを話そうとする。伝える相手を意識して、学習したことをより分かりやすく工夫して表現する。
	協力	栽培や発表などの協同的な活動において、友達と協力して活動する。
	関連	地域の多くの人々が支え合いながらよりよいまちをつくろうとしていることを知り、感謝の気持ちをもつ。
	参加	協同的な活動に主体的に取り組み、グループの中での自分の役割を果たす。



(写真9) 種植え



(資料3) 児童の感想

3 3年の実践

① 教科等：総合的な学習の時間（領域：地域）

単元名：大すき 新玉ちょうさい【総時間：22時間】

目標：新玉地域を探検し、人、文化、自然との関わりを通して、地域のよさに気づき、自分も地域の一員であることに喜びを見いだすことができる。

概要：社会科の学校周辺を探検し学習する中で、もっと地域について知りたいという思いから、本単元への学習へとつながる。児童は、様々な公共施設などを探検し、地域のよさを発見し、伝え合う。この活動を通して、地域に愛着をもち、地域のために自分ができることを考え実行しようとする。（写真10・資料4）

ESDの要素	多様性	自分たちの住む新玉地域には、様々な施設があり、そこには毎日一生懸命生きている人々が暮らしていることに気付く。
	相互性	様々な人たちと出会い、生き様を学ぶことで、互いに影響し合っ社会生活が成り立っていることが分かる。
	連携性	新玉地域のいろいろな施設は、お互いがつながりをもっていることに気付く。
ESDの能力・態度	多面	地域の人たちに関心や尊敬の心をもち、その人たちが私たちを取り巻く社会においてどのような役割を担っているかを考える。
	伝達	自分なりの表現方法で、分かったことや考えたことについて、相手意識をもって伝えることができる。
	協力	相手意識を明確にもち、友達と協力しながら自分たちの課題を追究する。
	関連	自分たちだけでなく周りにも目を向け、積極的に地域とつながろうとするとともに、地域により一層の親しみや愛着をもつことができる。
	参加	地域探検に積極的に参加し、より地域のことを知ろうとする。



（写真10）新聞社で新聞作りに挑戦



（資料4）ワークシート

② 教科等：総合的な学習の時間（領域：国際理解）

単元名：ちがう国（モザンビーク）でも同じこと【総時間：10時間】

目標：モザンビークの食べ物・音楽などの生活や文化を体験的に知ることを通して日本とモザンビークの違うところと同じところを知り、世界には様々な文化があることに気付かせると同時に、自分の住む国や地域にも興味をもたせる。

概要： 小学校低・中学年の児童がESDに関わる事象を体験し、そこで感じたり考えたりすることが高学年以降のESDの学習の基礎となる。そのため、ここでは、自分たちと同じ地球上に暮らすモザンビークの子どもたちに焦点を当て、モザンビークの生活や文化を体験することで、自分たちの生活や文化と違うところ・同じところを感じたり考えたりする。この活動は、世界には様々な文化や生活があることを知り、かつ自分たちの文化や生活に目を向けることにもつながる。(写真11・12)

ESDの要素	多様性	世界には、いろいろな自然・文化・社会があることを知り、日本（自分たち）との相違点を探る。
	相互性	様々な人と出会い、学ぶことで、互いに影響し合っ て社会生活が成り立っていることに気付く。
	連携性	違いを受け入れ、理解し、助け合おうとする。
ESDの能力・態度	多面	自分たちと違う国の文化や生活を知り、「なぜだろう。」「すごいな。」「どうなっているんだ。」など疑問や関心をもち、問題点を見付ける。
	伝達	モザンビークの文化や生活に触れ、自分自身が感じたことや思ったことを互いに伝え合おうとする。
	協力	友達と協力して活動したり、他学年の支援活動に進んで協力したりしようとする。
	関連	自分の国とモザンビークの共通点や相違点から、違う国でも同じことは何かを考えようとする。
	参加	モザンビークの食文化や音楽の体験に興味をもち、異文化を進んで体験してみようとする。



(写真11) アフリカの楽器と絵本の紹介



(写真12) カプラーナを着る児童

4 4年の実践

① 教科等：総合的な学習の時間（領域：福祉・人権）

単元名：あったかハート あらたま【総時間：30時間】

目標： 障がいのある人や高齢者、その人たちの暮らしを支える人の生き方や身近な福祉の問題との関わりを通して、共に幸せに生きていこうという思いや考えを感得する。

学んだことを通して、今の自分にできることを考えて実践したり、「これから生きる自分」を思いえがいたりする。

概要： 障がいのある人や、その人たちの暮らしを支える人との出会いを重ね、身近な福祉の問題に気づき、自分にできることを考え、実践していく。その過程で、ユニバーサルデザインの視点や共生について考え、自分を含めたすべての人に対して、共に幸せに生きていこうという思いを育む。
(写真13・資料5・6)

ESDの要素	公平性	一人一人が大切な存在であり、共に幸せに生きていく存在であることを感得する。
	連携性	社会の中で、人々が協力し、助け合って生きていくことが大切であることが分かる。
ESDの能力・態度	多面	身近な福祉の問題について知り、自分の身の回りを新たな視点で見つめ直す。
	伝達	障がいのある人、福祉の仕事に携わっている人など、関わる方の思いを素直に受け止めたり、心を通い合わせたりしようとする。
	関連参加	福祉の問題は、自分の生活やこらからの生き方とつながっていることを感得し、自分にできることを実践しようとする。

福祉（ふくし）って？

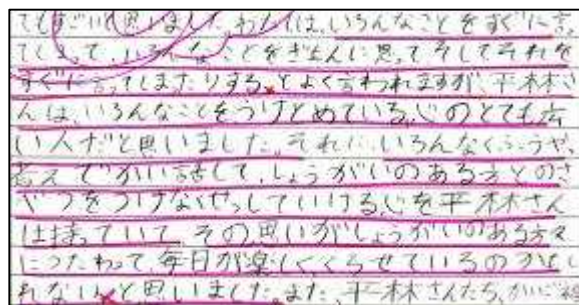
すべての人々が幸せになること
ふだんのくらしをしあわせにすること

高れい者、にんぷさん、あかちゃん、障がいの**あ**る方、私、友達、みんながいっしょにしあわせにくらしていくために福祉を学ぶ

↓

知る、かかわる

(資料5) 学習の導入時に使用したプレゼンテーション



(写真13) 介護福祉士の方との出会い (資料6) 介護福祉士の方との出会った後の児童の感想

② 教科等：総合的な学習の時間・学級活動（領域：食）

単元名：食べるって 楽しい！！（その2）

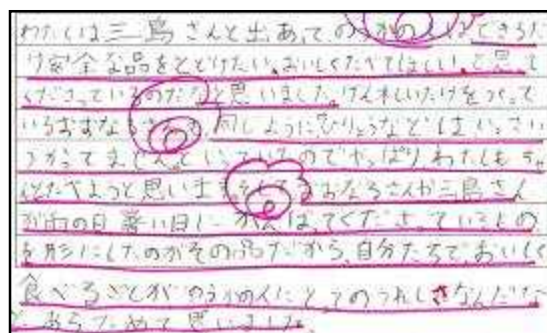
【総時間：20時間（総合18時間＋学級活動2時間）】

目標：食生活に関する個人や学級の課題を追究したり、食に携わる人や自然の恵みにふれたりすることで、食に関心をもつとともに、自分の食生活が、社会と関わりをもち多くの人や自然に支えられていることを感得する。

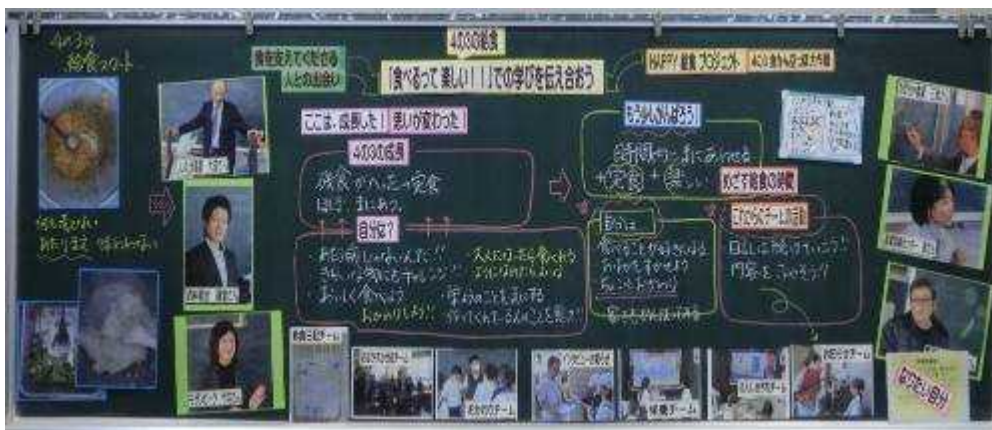
食を大切にする心を育て、家庭や学校での食生活における自分のよさや改善点を見付け、よりよい自分になるために努力しようとする。

概要：本単元は、一年間を通して「多くの人々や自然と自分たちの食との関わりに感謝して食べる姿勢や、友達と協力してよりよい食生活を創造していく楽しさ」を感得させることをねらいとしている。これは、2学期の実践である。児童が、給食に関する自分や学級の課題を探究していく過程で、食に携わる様々な方々との出会い、食を大切にする心を育み、食を通してのよりよい自分をえがき実現のための努力をしようとする態度を養っていく。(写真14・15・資料7)

ESDの要素	相互性	給食には自然や大勢の人が関わっていることを知り、食を通しての自分と社会とのつながりを感じ得る。そして、身近な食の場である給食という事象に自ら働きかけようとしていく。
	連携性	互いに協力して、給食に関する学級の課題を解決していく。
	責任性	給食に関する学級の課題を解決するための協同的な活動において、個人の課題とも向き合いながら自分の役割を果たす。
ESDの能力・態度	未来	「給食を楽しく食べる学級」を期待した学習活動を創造し、計画を立てる。
	多面	自分たちの食は、社会や自然、世界の食糧事情ともつながっていることを知り、新たな視点から食生活を見直そうとする。
	協力	協同的な活動において、友達と協力して活動する。
	関連	自分の食生活が、多くの人や自然に支えられていることを感得し、感謝の思いをもって食べようとする。
	参加	協同的な活動に自主的に取り組み、チーム内や学級内での自分の役割を果たす。



(写真14) 生産者（しいたけ）の方との出会い (資料7) 生産者との出会った後の児童の感想



(写真15) 学びの共有の場の板書

5 5年の実践

① 教科等：総合的な学習の時間（領域：環境）

単元名：わたしたちの地球【総時間：25時間】

目標：地球環境問題について現状を把握し、自分たちが何をしなければならないかを考え、友達・家族・外部専門家の方々と共に行動することができる。

概要： 本単元では、まず「ESDクエスト」を視聴し、今世界で、地球でどんなことが起きているのかを知る。地球環境の様々な問題を知り、原因を調べ、ストップするにはどうすればよいのかを考える。4つのテーマ（地球温暖化・環境の変化と生き物・森林の働き・食と環境）の中から、自分で課題を選び、追究し、調べたことを伝え合う。自分の学習成果を友達と共有し、自分たちが地球のためにできることを話し合う。そして、エネルギーについて外部専門家に学び、「節電行動～かしこい電気の使い方～」作戦を行い、達成度を振り返り、評価する。（本実践の一部は、愛媛大学「サステナブルエネルギー開発プロジェクト」の一環として行われた。）（写真16・17）

ESDの要素	多様性	自然界では、いろいろな現象が起きていることを知る。
	相互性	人は、環境と関わり合って生きていることが分かる。
	有限性	有限な資源の計画的な使い方を考えることができる。
	連携性	人々が協力して自分の生活を工夫することが分かる。
	責任性	環境に配慮した行動を取ることができる。
ESDの能力・態度	未来	目的意識をもって計画を立てる。
	多面	人と環境との関わりについて関連付けて考える。
	伝達	自分の考えを分かりやすく伝える。
	関連	人と自然とのつながりに関心をもち、大切にしようとする。
	参加	環境に優しい生活について考え、進んで実践しようとする。



（写真16）家庭での消費電力測定のために
配付されたエコワット



（写真17）愛媛大学羽島剛史先生による
節電効果の話

- ② 教科等：総合的な学習の時間（領域：食）
 単元名：食文化について考えよう【総時間：25時間】
 目標：食文化について知ったことや考えたことを大切にしていこうとする気持ちを持ち、課題解決に向けて活動することができる。
 概要：昔から伝わる料理・郷土料理・行事食について話し合い、関心をもたせる。そして、ずっと伝えられてきたよさについて考えさせ、受け継がれてきた意味を探ろうとする課題意識をもたせる。調べる計画を立て、調べ学習をする。本やパソコンで調べるだけでなく、店の方に話を聞いたり質問したりする活動や、地域の方・栄養教諭と一緒に調理をする体験活動も取り入れる。情報を伝え合ったり一人一人の考えを深めたりして、食に込められた人々の思いや願いを受け継いでいこうとする気持ちをもたせる。続いて、モザンビークの食の話聞き、主食であるトウモロコシの粉を練ったもの「シマ」を菓子にアレンジし、モザンビークを多くの人に知ってもらうきっかけにする。児童の発想と愛媛調理製菓専門学校の先生や学生の専門的な知識を合わせて菓子をつくる。菓子を知ってもらう方法を決め、役割分担をし、実践する。（写真18・19・20）

ESDの要素	相互性	地域やそこに住む人々、モザンビークと関わり合っていることに気付く。
	連携性	地域の方や店、市内の製菓学校と協力することを知る。
	責任性	自ら進んで行動することができる。
ESDの能力・態度	未来	目的意識をもって計画を立てる。
	協力	友達と協力してお菓子づくりをする。
	関連	一緒に体験活動をする人とつながっていると感じる。
	参加	モザンビークを知ってもらおう活動を進んで行う。



(写真18) 地域の方から教わりながら
郷土料理「松山ずし」づくり



(写真19) モザンビークの「シマ」を
アレンジした菓子



(写真20) 菓子の名前の付け方・味・作り方・改善点等、観点を決めた各グループ毎の発表

6 6年の実践

- ① 教科等：総合的な学習の時間（領域：国際理解・平和・環境）
 単元名：平和な世界を築くために～わたしたちができること～【総時間：50時間】
 目標：世界の子どもたちをめぐる問題を知り、自分の生活や生き方を見つめ直し、将来にわたって、どのような考えをもって自分が関わっていけばよいか考える。

概要： 開発途上国の子どもたちは貧困、健康、環境、平和等の深刻な問題の中で生きているが、児童はその事実を自分と結び付けて考える機会は少ない。本単元は、国際理解に関する学習における「問題の解決や探究活動」の重要性を踏まえ、開発途上国（モザンビーク）と自分との関係に気づき、問題の解決や探究活動に体験活動を位置付ける。具体的には、モザンビークの現状を知り、自分たちにできることを考え、行動する。そのことによって、児童が今後も社会に対してどう関わっていくか考え、自分の意思をもって行動するきっかけとする。（写真 21・22・資料 8）

ESDの要素	多様性	世界には多くの国があり、人々がそれぞれの環境の中で生活を営んでいることを学ぶ。(国際社会への気づき) 問題解決のために必要な多面的な見方や考え方をもち。
	相互性	地域や国を超えた人と人とのつながりを生かして学ぶとともに、世界の人々と共に生きて行くことを認識する。
	公平性	国際社会における格差を知り、基本的な権利の保障や自然等からの恩恵の享受などは、地域や世代を渡って公平・公正・平等あるべきであるという思いをもつ。
	連携性	持続可能な社会は、人々が状況や相互関係などに応じて順応・調和し、互いに連携・協力することにより構築されることを知り、自分の生き方を見直そうとする。
	責任性	持続可能な社会の一員として、自分もまた将来のために責任をもって主体的に行動を起こそうとする。
ESDの能力・態度	未来	過去や現在に基づき、あるべき平和な国際社会を予想・予測・期待し、それらを友達と共有しながら自分にできることを計画する。
	多面	国際社会にある諸問題を理解した上で、よりよい未来のためにその解決策を多面的・総合的に考える。
	協力	友達の立場や意見に共感し、積極的に意見を交流し、合意を図りながら協力して学習する。
	伝達	自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う。
	参加	自分の意思決定に基づいて、主体的に活動に参加する。



(写真 21) 世界少年野球愛媛大会開会式でモザンビークの子どもに自分たちがつくったミサンガをプレゼント



(写真 22) EGN 竹内氏の話聞き、モザンビークの現状を知る活動

保護者様
モザンビークへの基金と物資支援のご協力のお願い

新玉小学校は、8年前からモザンビークの支援活動を行っています。私たち6年生も、6年間の交流のまとめとして、自分たちにできることは何だろうと考えました。

モザンビークには、今、何が 필요한のか、えびめグローバルネットワークの竹向さん、高山さんに教えていただきました。今までは、自転車も送る活動をしていましたが、輸送費がとても高いため今年は無難にしたいということが分かりました。話し合いの結果、基金活動と物資支援をすることにしました。物資支援では、文具類などが十分に足りていないモザンビークの子供たちのために、次のような物を集めようと考えています。

📎 履検ポッド モザンビークの子供たちは、学校に靴がないため、コンクリートの床の上で勉強をしています。履検ポッドはそれらに代わりになり、十分な勉強が出来るようになります。

📎 はさみ えんぴすけずり(鉛筆)の定規、色鉛筆は色鉛筆の代わりに、他にも、まだ使っていないえんぴす、消しゴム、ノート、のりなども集めようと思っています。

基金活動では、手作りのポスターやついでに、基金額と地域の色々な場所に設置しています。集まった基金があれば、道の整備や、学校が図書館建設の資金にあてる事ができます。詳しい内容は下記をご覧ください。

① 期日 1月29日(水)～2月12日(水)
→ 集めた基金は2月18日までです。

② 基金箱設置場所 校内と地域

ローソン 三軒倉	カットワン	花川クリニック	新玉児童館
ローソン 矢野町	大塚中	松田クリニック	
ローソン 新玉駅前	菓子亭	ＡＡ－Ｂ	
ローソン 新玉駅前	ファミレス	コンビニ	
ファミリーマート	宮崎書店	新玉小学校	

私たちの物資支援や基金で、モザンビークの暮らしが便利になり、豊かになります。

1本のえんぴす、1冊のノート、1月の基金から
ご協力をお願いします。
物資は学校に送らせていただきます。(2月18日まで)

モザンビークに幸せを!

モザンビーク、人口約2600万人、首都マプト、南アフリカに位置する、言語はズール語と英語。

今のモザンビーク
 学校が少ない、
 文房具が足りない、
 食料が足りない、
 交通手段が少ない、
 きれいな水がない、
 武器が残っている、
 道が整備されていない

少しの基金も積み重ねると...
 道路の整備ができる、
 苗木を送れる、
 学校に行ける子供が増える、
 葉が買える、
 病弱の人が人が救える、
 あなたの基金で、
 モザンビークに笑顔が増えます!

きれいな水が飲める、
 水の手洗装置が買える、
 食料の確保ができる

ご協力よろしくお願いします!

6年 一柳真帆 松山市立新玉小学校

困っているモザンビークの子供達のため 私たちにできること...

モザンビークは独立直後の1977年～1992年まで続いた内戦により、国の発展が遅れ、現在の状態に至っています。モザンビークで洪水被害が起きたので、さらに生活が厳しくなっています。モザンビーク各地では、栄養失調による、幼児の死亡率が高く、多くの子供たちが命を失っています。子供たちを助けたい... ため

募金とご協力
 よろしくお願ひします!!

モザンビークの子供達を救いませんか?

〈モザンビークの現状〉
 ● 学校が少ない
 ● 文房具が足りない
 ● 食料が足りない
 ● 水道がない
 ● 交通手段が少ない
 ● 子供の死亡率が高い
 ● 学校に行ける子供が少ない
 ● 道が整備されていない

新玉小学校では...
 子供に足りない文房具を送るなどの取り組みをしています。

6年 一柳真帆
 海山 伊藤志希
 ホノカス 尾崎けいり
 など送っています。

(資料8) 児童が作成したモザンビーク支援を呼び掛けるチラシやポスター

② 教科等：総合的な学習の時間（領域：キャリア）

単元名：ゆめに向かって～わたしらしく生きること～【総時間：20時間】

目標： 最高学年として自分の生活や生き方を見つめ直し、自分が果たす役割と価値について考え、将来にわたって、どのような考えを持って生きていけばよいか考える。

概要： 進級して最高学年となった児童は、学校生活の中の様々な場面の中でリーダーとして責任をもって活動しなくてはならない機会が多い。そういった場を有効に活用して自分の生き方を見つめ直すきっかけとする。同時に様々な職業の人（農業従事者、林業従事者、美容師、アナウンサー、カメラマン、獣医師、地雷処理活動家等）との出会いの場を意図的に設定することにより、児童の視野を広げ、自分の将来に期待や希望をもたせる。働くことの喜びや苦勞、仕事の大切さや厳しさを知り、社会に目を向けることによって児童は、小学生の今から自分が準備しなければならないことがあることに気付くはずである。単元を通して今の自分の生き方のよさと課題、役割に気付かせ、将来にわたって何を努力すべきなのかを考えさせる。（写真23・24・資料9・10）

ESDの要素	多様性	リーダーとして問題解決のために必要な多面的な見方や考え方をもつ。 社会には様々な職業があることや職業に就くまでに様々な方法があることを知る。
	相互性	年齢を超えた人と人とのつながりを生かして学ぶとともに、学校や社会の中で共に生きて行くことを認識する。
	連携性	持続可能な社会は、人々が状況や相互関係などに応じて順応・調和し、互いに連携・協力することにより構築されることを知り、自分の生き方を見直そうとする。
	責任性	持続可能な社会の一員として、自分もまた将来のために責任を持って主体的に行動を起こそうとする。
ESDの能力・態度	未来	社会にある諸問題を理解した上で、よりよい未来のためにその解決策を多面的・総合的に考える。
	多面	人・もの・こと・社会・職業などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える。
	協力	友達の立場や意見に共感し、積極的に意見を交流し、合意を図りながら協力して学習する。
	伝達	自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う。
	参加	自己の意思決定に基づいて、主体的に参加する。



(写真23) 地雷撤去に関わっている
高山良二氏の話



(写真24) アナウンサーやのひろみ氏の話

☆ お話を聞いて分かったこと(苦勞・大変さ)や心に残ったこと

やのひろみさんのお話しを聞いて、思ったことは、夢をたくさん持つことの大切さです。私の将来の夢は「教師」ですが、いつ・どこで何があるか分からないので、たくさん夢を持つと思いました。チャンスをしかりつかんで、生きて行こうと思いました。私も、やのひろみさんの様に、たくましく、楽しく生きて行きたいです。「働く」ということは、「恩返し」ということを知ったので、今勉強していることを無駄にせず、家族などに恩返ししていきたいです。お、自分らしく生きています。

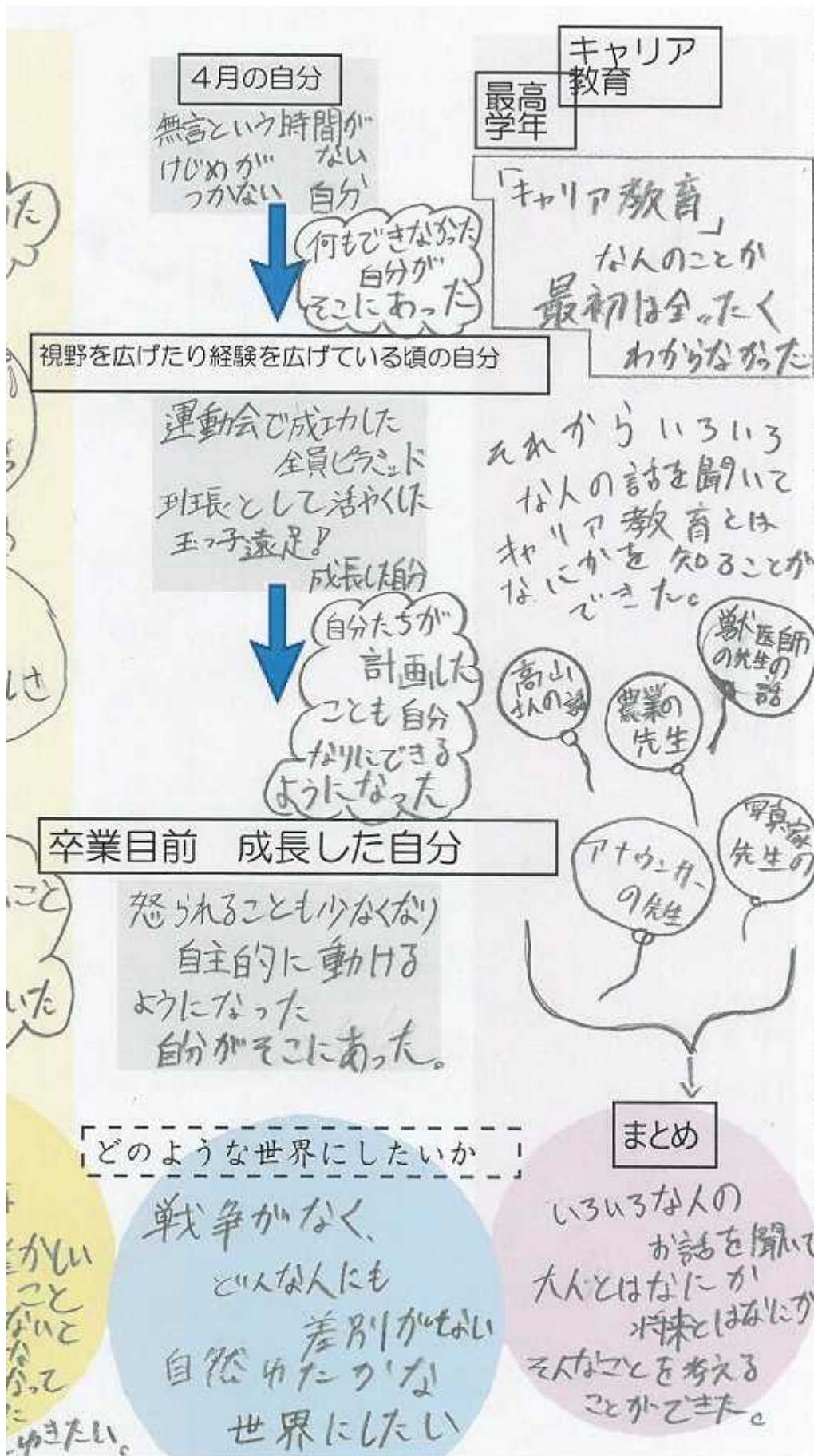
☆ ますます興味をもったことやこれから自分に生かしたいこと

今日のお話で、私は、パーソナリティーの仕事に、もっと興味を持ちました。あと、将来の夢を一つにしぼらずに、いろいろな夢を持ちたいと思いました。今日のやのひろみさんの生き方を参考に、これからの人生に生かしていきたくてです。

☆ ますます興味をもったことやこれから自分に生かしたいこと

村瀬さんは昔は安定した収入がある職業をわめてわざわざ収入も少なく大変な林業という仕事を選びました。それでも村瀬さんとも満足されていけように見えました。早く自分が満足できる職業に就きたいです。

(資料9) 様々な職種の方から話を聞いた児童の感想



(資料10) 自分の成長を振り返るワークシート

2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）